

## 本時の学習【発展コース】(6/7)

これからの貿易と運輸について、自分なりの考えをもてるようにするために、習熟度別に分けた少人数指導を行い、これまでの学習で十分でなかった部分を補うようにする。

### 1 ねらい

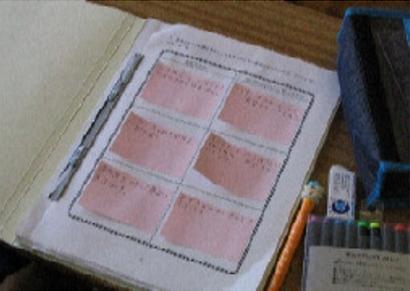
学習を振り返り、輸出と輸入のつりあいの取れた貿易にするための方法について考えることができる。

### 2 準備

提示用資料(日本のおもな貿易相手国や世界のおもな国の輸出入の差額のグラフ、貿易の問題を伝える写真資料など)、学習全体の構造図(これまでに分かったことをまとめたもの)、ワークシート

### 3 展開

学習活動	時間	学習活動への支援および留意点	評価項目
<b>これまでの学習をふり振り返り、新しい問題について考えよう</b>			
1 これまでの学習で分かったことを確認する。 ・「加工貿易」の仕組みについて理解する。	5	これまでの学習でどんなことが明らかになったのかを確認できるように、学習全体の構造図を掲示する。 ・「加工貿易」の仕組みについて確認できるようにする。 ・子供たちの調査と発表では確認が不十分であった輸出品の割合の変化について、グラフの読み取りを通しておさえておく。	輸出や輸入などの貿易の様子について、新しい資料を効果的に活用して具体的に調べているかどうかを、発言した内容やワークシートに記述した内容を通して評価する。
2 これまでにふれてこなかった学習内容について、資料の読み取りなどを通して確認する。 ・製品の輸入が増えていることをきっかけにして、加工貿易が変化してきていることを知る。	10	子供たち主体の学習の中でふれられなかった部分を抽出し、大切なことをもれなく扱う。 ・製品の輸入が増えていることについて、グラフの読み取りを通して確実に事実を把握し、加工貿易が変化してきていることをつかめるようにする。 ・具体的な例として衣服や家電製品を例に上げ、生活の中に輸入された製品がたくさんあることに気付けるようにする。 ・外国で製品をつくる日本の工場が増えたことについては、次時に詳しく扱う。	調べたことをもとに、これからの貿易のあり方について考え、適切に判断しているかどうかを、発言した内容やワークシートに記述した内容の分析を通して評価する。
3 貿易とわたしたちの生活との関連を考える。 ・貿易が、わたしたちの生活にとって必要不可欠であることについて考える。	5	貿易は、現在の生活を成り立たせるために必要不可欠なものであることを理解するために、具体的な例をもとに生活との結びつきを考えるようにする。 ・食料生産の学習や製品の輸入とも関連させながら、衣食住すべての面にわたって貿易が生活を支えていることに気付けるようにする。	
4 貿易のよさと問題点について、資	10	日本のおもな貿易相手国について調べたり	

<p>料の読み取りを通して考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貿易の良さである「お互いの国を豊かにすること」について考える。</li> <li>・資料から日本の主な貿易相手国と輸出入の差額を読み取る。</li> <li>・貿易の問題点の一つである「貿易摩擦」について考える。</li> </ul> 	<p>自分から貿易のよさや問題点に気付いたりできるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「貿易が盛んになるのはよいことだ」ということを前提として考えていけるように、まず貿易の持つプラスの側面に目を向けるようにする。</li> <li>・得意とする生産物を輸出し合うことで、互いの国が豊かになることをおさえておく。中心となる二つの資料の比較がしやすいように、資料を拡大して並べて掲示し、貿易のもつ問題点を読み取れるようにする。</li> <li>・貿易の問題点の一つである「貿易摩擦」については、その意味をしっかりと確認しておく。</li> </ul>
<p>5 つりあいの取れた貿易にするための方法について、自分なりの考えをもつ。</p> 	<p>10</p> <p>次時の話し合い活動を活発なものにするため、できるだけたくさんの方の方法を考えるように働きかける。</p> <p>次時に自分の考えがうまく発表できるように、つりあいの取れた貿易にするための具体的な方法とそう考えたわけをワークシートに記入できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解決の方法については、次時で交流を通して深めるため、本時は自分のアイデアが記述できればよいことを伝える。</li> </ul>
<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チェックシートを使って本時の学習を振り返り、自己評価する。</li> </ul>	<p>5</p> <p>評価項目の内容を正しく理解して評価できるように、説明を補足したり助言したりする。</p>



板書の様子（六合村立第一小学校 発展コース）



少人数指導の様子（伊勢崎市立 豊受小学校 発展コース）

本時の学習【補充コース】(6/7)

これからの貿易と運輸について、自分なりの考えをもてるようにするために、習熟度別に分けた少人数指導を行い、これまでの学習で十分でなかった部分を補うようにする。

1 ねらい

学習を振り返り、輸出と輸入のつりあいの取れた貿易にするための方法について考えることができる。

2 準備

提示用資料(日本のおもな貿易相手国や世界のおもな国の輸出入の差額のグラフ、貿易の問題を伝える写真資料など)、学習全体の構造図(これまでに分かったことをまとめたもの)、ワークシート

3 展開

学習活動	時間	学習活動への支援および留意点	評価項目
<p><b>これまでの学習をふり振り返り、新しい問題について考えよう</b></p>			
<p>1 これまでにふれてこなかった学習内容について、資料の読み取りなどを通して確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までに調べたり教えてもらったことについて分かった事実を紹介し合いながら、これまでの学習をふり返る。</li> <li>・今までに調べてきた資料や新たな資料を丁寧に読み取る作業を通して事実を再確認する。</li> <li>・「加工貿易」の仕組みについて理解する。</li> </ul> <div data-bbox="180 1256 584 1794"> <p><b>加工貿易</b></p> <p>原材料を輸入して加工し、製品につくりかえて輸出する貿易の形。</p> <p>国内の資源がとぼしく、工業が発達している国で行われる。</p> <p>日本では、工業用の原料・燃料のほとんどすべてを輸入にたより、それをもとにしてつくった金属製品・機械類・繊維製品など、多くの工業製品を輸出している。</p> </div>	20	<p>これまでの学習でどんなことが明らかになったのかを確認できるように、学習全体の構造図を掲示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じてより分かりやすい資料を提示したり、資料の読み取り方も再度確認したりしながら、社会的事象のもつ事実を正確に把握できるようにする。</li> <li>・「加工貿易」の仕組みについて確認できるようにする。</li> </ul> <div data-bbox="667 1126 1126 1783"> <p><b>共通問題</b></p> <p>工業生産をささえる貿易や運輸は、どのように行われているのでしょうか？</p> <p><b>貿易</b></p> <p>①貿易は、工業生産をどのようにささえているのか？</p> <p>②輸出は、どのように行われているのか？</p> <p>③輸入は、どのように行われているのか？</p> <p><b>国内の運輸</b></p> <p>④運輸は、工業生産をどのようにささえているのか？</p> </div>	<p>輸出や輸入などの貿易の様子について、写真や地図、グラフなどの資料を活用して具体的に調べているかどうかを、発言した内容やワークシートの内容を通して評価する。</p> <p>調べたことをもとに、貿易が我が国の工業生産において重要な役割を果たしていることやこれからの貿易のあり方について考え、適切に判断しているかどうかを発言した内容やワークシートの内容の分析を通して評価する。</p>
<p>2 資料の読み取りを通して、貿易のよさと問題点について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から日本の主な貿易相手国について知る。</li> <li>・貿易のよい点である「お互いの国</li> </ul>	10	<p>なるべく分かりやすい資料を用意し、資料の読み取り方を確認しながら調べるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「貿易が盛んになるのはよいことだ」ということを前提として考えていけるように、</li> </ul>	

<p>を豊かにする」という事実や問題点の一つである「貿易摩擦」について知る。</p>	<p>まず貿易の持つプラスの側面に目を向けるように助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>得意とする生産物を輸出し合うことで、互いの国が豊かになることに気付けるように助言する。</li> </ul> <p>貿易の問題点の一つである「貿易摩擦」については、その意味をしっかりと確認しておく。</p>
<p>3 輸出と輸入のつりあいの取れた貿易にするための方法について、自分なりの考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調べて新しく分かった事実や今までに分かっている事実などを関連させて、考えたことなどをワークシートに自分の言葉でまとめる。</li> </ul>	<p>10</p> <p>次時の話し合い活動のために、あまり具体的でなくても、一つは方法を考えられるように働きかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>解決の方法については、次時で交流を通して深めるため、本時は自分のアイデアが記述できればよいことを伝える。</li> <li>考えたわけが書ける子供には、ワークシートに考えたわけも記入するよう助言する。</li> </ul>
<p>5 本時の学習をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チェックシートを使って本時の学習をふり返り、自己評価する。</li> </ul>	<p>5</p> <p>評価項目の内容を正しく理解して評価できるように、説明を補足したり助言したりする。</p>



少人数指導の様子（六合村立第一小学校補充コース）  
通常社会科を担当している教師が、図書室で授業を行った。



少人数指導の様子（伊勢崎市立豊受小学校補充コース）  
担任教師が、空き教室（ふだんは算数の少人数指導に使用している）で授業を行った。